

## パラグライディングクロスカントリー日本選手権規定 【改定日：2021年1月1日】

### 赤字修正箇所

#### 修正箇所：

- 「タイトル」 →クロスカントリー競技の日本選手権規定であることを明記
- 「2」 →参加資格を追記（競技の質向上を目的に経験・実績面を追記）、海外選手資格を PJJ ルールと整合性を取り修正
- 「7」 →開催地元枠について補足

#### 1. 日本選手権の開催

日本選手権を開催しようとするものは、原則として日本選手権開催予定年の前々年の 12 月までに必要書類（開催要項および地図）を揃えて、その旨を JHF に提出しなければならない。その内容の検討は JHF パラグライダー競技委員会で行い、開催の決定は開催予定年の前年の 3 月までの理事会において行うものとする。

#### 2. 参加資格

日本選手権の参加資格は以下の 5 項目全てを満たすものとする（オープン参加の外国人は除く）。

- a) 有効な日本の FAI スポーティングライセンスを所持するもの。
- b) 有効な JHF フライヤー登録をしているもの。
- c) JHF PG クロスカントリー技能証（XC 証）を所持していること。
- d) 開催年度以前の 3 年間に於いて PJJ 大会（PJJ ランキング計上大会）への参加実績があること、または CIVIL World Ranking にランキングがあること。

<[http://civlrankings.fai.org/?a=326&l=0&ladder\\_id=3&nation\\_id=117](http://civlrankings.fai.org/?a=326&l=0&ladder_id=3&nation_id=117)>

~~e) 開催年度以前の 5 年間に於いて PJJ 大会への参加実績があること。~~

f) 次のいずれかに該当するもの。

- ・シード選手
- ・正会員代表
- ・学生連盟枠
- ・開催地元枠
- ・女子優先枠
- ・前年度 PJJ ランキング（オープンクラス）上位者
- ・今年度 PJJ 登録者

~~オープン参加の外国人も有効な JHF フライヤー登録をしていること、なおかつ適切なフライト技術を身につけているものに限る。海外から参加する外国人選手の参加資格は次のものとする。~~

- ・有効な FAI スポーティングライセンス（日本以外で発行されたもの）を所持していること。
- ・有効な JHF フライヤー登録証を所持していること。
- ・IPPI Card ParaPro 5（Cross Country）を所持していること。
- ・CIVIL World Ranking にランキングがあること。

[http://civlrankings.fai.org/?a=326&l=0&ladder\\_id=3&nation\\_id=117](http://civlrankings.fai.org/?a=326&l=0&ladder_id=3&nation_id=117)

### 3. 使用機体

使用可能な機体は、「パラグライディング公認大会規則」に定められているものに準じる。

### 4. 大会の種類

大会はジャパンリーグ対象大会、および FAI カテゴリー2 大会とすること。ゼッケンは日本選手権独自のものが採用される場合がある。

### 5. シード選手

シード選手は前年度日本選手権 10 位までおよび前年度 PJL ランキング（オープンクラス）10 位までのもの（重複があっても繰り下げはしない）とする。

### 6. 正会員代表

正会員の資格を持った各都道府県から代表 1 名を選出する際には、各都道府県連に所属しているもののうち、日本選手権開催前年度の PJL ランキング最上位者（5 項のシード選手を除く）を選出することを推奨する。

### 7. 参加選手選抜方法

総予定エントリー人数から下記選抜を実施する。

- ① シード選手（前 5 項による）
- ② 正会員代表：正会員の資格を持った各都道府県代表 1 名
- ③ 学生連盟枠：1 名
- ④ 開催地元枠：正会員の資格を持った都道府県の場合に限り最大 2 名（当該都道府県連に所属しているもの）。ただし少なくとも 1 名は女子選手とする。
- ⑤ 女子優先枠：総予定エントリー人数の 10%。ただし①～④の選手もこの枠に含めるものとし、日本選手権開催前年度の PJL ランキング上位から選出する。
- ⑥ 残りの人数を日本選手権開催前年度の PJL ランキング（オープンクラス）上位から選出する。
- ⑦ それでもエントリー枠に空きがある場合は、当年度 PJL 登録者に解放する（選抜方法は主催者に任せる）。

### 8. 大会の準備

プレ大会とも言うべき日本選手権と同規模の大会を予め開催し、経験を積んでおくこと。

### 9. 陪審員

大会開始前に 2 名以上の公式審判員からなる陪審員を設置することが望ましい。陪審員は抗議があった場合はこれを審議し、認否の決定を下す。この陪審員に関わる費用は JHF が負担するものとする。

陪審員が設置されない場合は、JHF パラグライディング競技委員会が抗議に対する審議等を実施す

る。

#### 10. 書類の提出

申請に必要な書類は、日本選手権開催の三ヶ月前まで、またはF A I カテゴリー 2 大会規定に定められた期日まで、そのどちらか早い期日までに、JHF パラグライダー競技委員会へ提出すること。

#### 11. 補欠募集

主催者は予定エントリー人数に達するまで補欠募集をすることができる。その方法は7項に準ずる。

#### 12. 成立条件

日本選手権が成立するためには、開催日程最終日（予備日を含む）まで競技を行った上で、大会で成立したタスクのデイクオリティを合計した値が 1.2 以上、かつ成立したタスクのどれか 1 本のデイクオリティが 0.6 以上となる必要がある。

#### 13. 女子表彰

実際の女子参加人数が 5 名以上なおかつ参加選手総数の 10%以上であった場合、女子の 1 位を女子日本選手権者とする。